

兵庫県立 考古博物館 NEWS Vol.31



Hyogo Prefectural
Museum of
Archaeology



2023 Spring-Summer

2023年春夏号

- 古代鏡展示館(加西分館) 春季企画展
「聖獣 麒麟 —こころ優しき獣の長—」
- 春季特別展「古墳時代の技術革新」
- 夏季企画展「新発見！ひょうご発掘調査速報2023」
- 竪穴住居復元プロジェクト“イマ”の“ムカシ”の家づくりー

古代鏡展示館（加西分館）春季企画展

聖獣 麒麟 —こころ優しき獣の長—

令和5年3月18日(土)～9月10日(日) 休館日：水曜日 3/18(土)～5/9(火)は無休

「麒麟」、この二文字から何を思い浮かべますか？ドラマのタイトル、飲料のラベルなど
思い浮かぶ「麒麟」像は人それぞれでしょう。本展では、聖獣、霊獣、仁獣、瑞獣など
と呼ばれる「麒麟」の姿の変遷を、古代鏡や陶磁器をとおして紹介しています。



えっ！
これ、麒麟？

麒麟

[写真] 瑞獣龍鳳紋鏡の麒麟(唐時代)古代鏡展示館蔵 [絵](左) 呉州赤絵写魁手鉢(珉平焼)の麒麟(江戸時代後期～明治時代前期)兵庫陶芸美術館蔵
(右) 下絵帖(珉平焼関連資料)の麒麟(江戸時代後期～昭和時代)兵庫陶芸美術館蔵【田中寛コレクション】

1 麒麟ってなに？

古代中国で生み出された聖獣 麒麟は、現在の辞書では次のように書かれています。

①聖人が出現する前兆として現れる想像上の動物

②体は鹿、蹄は馬、尾は牛に似て、頭に肉に包まれた角がある。一角獣

③麒が雄、麟が雌

また、麋のろ（小型の鹿）や麋なれしか（大型の鹿）と言われたり、この世の動物の長とされた四匹の霊獣「四霊」のひとつにも数えられています。



龍頭で鱗を持つ現代の麒麟像
東京日本橋

しかし、今日私たちが目にする麒麟の姿は、顔や体が龍や獅子に似たものが多く、複数に枝分かれした角や羽ひれ（鱗）を持つ麒麟像もあります。

麒麟の姿はどのように変化したのでしょうか？

2 最初は「麟／リン」

麒麟が登場するのは春秋時代（前8世紀～前5世紀）に遡ります。中国最古の詩集といわれる『詩経』^{きやう}※1には「麟」の一文字で、素晴らしく高貴な獣として現れます。また『春秋』^{しゅんしゅう}※2には哀公14年（前481年）に「麟が捕獲された」という内容が記されています。

戦国時代～漢時代（前4世紀～3世紀）にかけては「麒麟」と表記されるようになり、麟と麒麟が混在して使われています。麒麟は、文字では「鹿+其」「鹿+夨」と鹿偏で書かれることがほとんどですが、馬偏の「騏驎」と表現している例も見られます。また「麒が雄、麟が雌」と雌雄が区別されるようになるのも後漢時代（1～3世紀）頃です。

当館所蔵の瑞獣龍鳳紋鏡ずいじゅうりゅうほうもんきやう（前頁）では鏡の紋様と銘文の対比から、1匹の鹿形の霊獣を「麟」と表現し、唐時代にも「リン」と呼んでいたことがわかります。

※1 詩経／西周～春秋時代におよぶ歌謡を収録

※2 春秋／東周時代の前半（前722年～前481年）の歴史書

3 変化する麒麟の姿

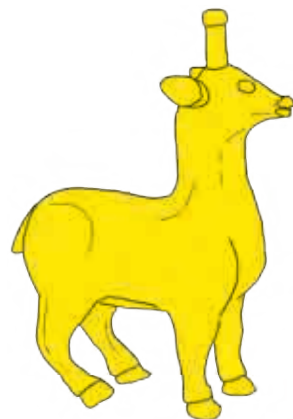
麒麟の具体的な図像が見られるようになるのは前漢時代後期（前1世紀）です。前漢の7代皇帝武帝（前158年～前87年）により儒教が官学に採用された後、麒麟は儒教の第一の徳目「仁」を持った獣として仁獣と呼ばれるようになります。

漢時代の麒麟の多くは、鹿や馬の体に一本の角、馬の蹄たんでい（单蹄）で描かれています。

中国の南朝時代（宋・齊・梁・陳／5～6世紀）では、墓を守るため皇帝陵の参道に置かれた虎・獅子形の大型の石像が麒麟と呼ばれます。全長は3m前後と大型で、足の5本指には鋭い爪も表されています。

8世紀（唐時代）に作られた銅鏡には、頭上にS字形の1本角を持ち、天を駆ける躍動的な鹿形の麒麟が図像に取り入れられています。

北宋時代の建築技術書『營造法式』^{えいざうほうしき}（1103年刊行）では、2本角で体が鱗に覆われた獅子形の獣が麒麟の図案として表されています。



仁獣らしい麒麟像（スケッチ）

鍍金麒麟銅像／後漢時代
原品は河南省博物館蔵



龍のような麒麟

青磁麒麟文筆立ふでたて（三田青磁）／江戸時代後期
兵庫陶芸美術館蔵【田中寛コレクション】

その後、麒麟の姿は次第に龍に近づき、さらに角の形や本数、蹄の形が変化した様々な図像が出現します。今日私たちがよく目にする麒麟像はこのようにして生まれました。

（古代鏡展示館 村上賢治）

春季特別展

古墳時代の技術革新

期間：令和5年4月22日(土)～7月2日(日) 場所：本館特別展示室

1 古墳の変遷

前方後円墳に代表される古墳が盛んに造られた3世紀中ごろから6世紀終わりまでの約350年間を古墳時代と呼んでいます。この間、政治情勢を反映して、古墳の立地、形態や規模、埋葬施設の特徴、副葬品などの組み合わせが変化しました。

この古墳の変化を、前期・中期・後期に分け、兵庫県の代表的な古墳から出土した埴輪や被葬者に供えられた鏡や玉、武器などの副葬品により紹介します。



重要文化財 船形埴輪 池田古墳（朝来市）

2 古墳時代の技術革新

古墳時代中期を中心とした政治の激動期においては、渡来人により大陸から金工技術や須恵器生産技術、牛馬利用などの最先端技術が伝えられました。さらに竈や甑かまど こしきの採用により調理方法や食事方法にも大きな変革がありました。

これら、大陸からもたらされた物、新たな技術に関わる道具やその技術を使って作られた品々を紹介するとともに、それに伴う人々の生活の変化をみていきます。

(学芸課 篠宮 正)



須恵器器台 前田遺跡（姫路市）

夏季企画展

新発見！ひょうご発掘調査速報2023

期間：令和5年7月22日(土)～8月27日(日) 場所：本館特別展示室

兵庫県教育委員会が令和4年度に実施した池ノ下遺跡みなみがまえ（姫路市）、南構遺跡・南構古墳群（豊岡市）、津万遺跡つ ま（西脇市）、鵜遺跡いかるが（太子町）、宅原遺跡えいばら（神戸市）などの出土品整理の成果と、新たに発掘調査で出土した資料を一堂に公開する速報展です。

あわせて、兵庫五国の県指定文化財を展示し、地域色豊かな兵庫の遺跡を紹介します。

(学芸課 藤原怜史)



玉類 南構古墳群（豊岡市）

竪穴住居復元プロジェクト — “イマ”の“ムカシ”の家づくり —

当プロジェクトでは、当館の開館以来15年、公園内の竪穴住居の復元を続けています。

メンバーは考古博物館の職員だけではなく、明石工業高等専門学校教員・学生や博物館ボランティアとともに実施しています。材料は地元のものを用いており、毎年1月には屋根の材料の調達のため加古郡稲美町の加古大池でヨシ刈りも行っています。

むかしの竪穴住居に関して発掘調査からわかるのは住居の床の大きさや柱の位置ぐらいで、当時の屋根の構造などについてはほとんどわかっていません。

そのため私たちは考古学の成果だけでなく、建築史学や参加者自身が日常で培ってきた日曜大工の技術を駆使しつつ、屋根構造や木材の固縛方法等を試行錯誤しながら復元作業を進めています。

令和3年度は主に柱立てを行い、令和4年度は屋根材であるヨシを葺く作業を行っています。今後、令和5年度内の完成を目指し作業を進める予定です。



柱立て



ヨシ葺き

兵庫県立考古博物館あるいは大中遺跡といえ「復元された竪穴住居がある場所！」と皆様に思ってもらえるようプロジェクトメンバー一丸となって楽しく精一杯努めて参ります。

考古博物館や大中遺跡にお越しの際は、ぜひ、当館北側で行っている復元作業を間近でご覧ください！（原則、毎月第2土曜日と第4日曜日が活動日です）

（学習支援課 永恵裕和）

担当学芸員の紹介



こんにちは、学習支援課の永恵です。専門は、南北朝期～近世の城館跡・近代の砲台の研究とGIS（ブラタモリでおなじみの立体的な地図を作るソフト）を使った遺跡の歴史地理的な分析です。出土品の研究というよりも、各地に存在する遺跡群をどう地域や現在生きる私たちの生活の中に位置づけるかということに興味があります。

左の写真のように、たまに弥生人に変身をして館内を闊歩していますので、見かけたら気軽にお声掛け下さい。

学習支援課に配属されてまだ2年の、よちよち歩きの状態ですが、竪穴住居の復元や他の仕事や研究に、邁進していきます！



触れる・体感する、考古学のワンダーランド。
兵庫県立考古博物館
Hyogo Prefectural Museum of Archaeology

■休館日：月曜日（祝休日の場合は翌平日）

〒675-0142

兵庫県加古郡播磨町大中1-1-1

TEL 079-437-5589

FAX 079-437-5599



考古博物館 HP

—— 兵庫県立考古博物館 加西分館 ——
古代鏡展示館
Hyogo Prefectural Museum of Ancient Bronze Mirrors

■休館日：水曜日（祝休日の場合は翌平日）

〒679-0106

兵庫県加西市豊倉町飯森1282-1

兵庫県立フラワーセンター内

TEL 0790-47-2212

FAX 0790-47-2213



加西分館 HP

兵庫県立考古博物館NEWS
vol.31 2023 Spring-Summer

発行年月日 令和5年3月15日

編集・発行 兵庫県立考古博物館

〒675-0142 兵庫県加古郡播磨町大中1-1-1

TEL.079-437-5589

FAX.079-437-5599

<https://www.hyogo-koukohaku.jp/>